

NPO 法人 荒川の自然を守る会

—三ツ又沼ビオトープ—

File 25

活動地：埼玉県上尾市、川越市、川島町

面積：約 130,000㎡

活動開始時期：1991 年 5 月

URL：<http://arakawa.main.jp/>



団体の活動内容について

荒川とその周辺に残された自然を子どもたちの大切な財産として保全していくことを目的に、1991年に会をつくり活動しています。荒川の堤防は首都圏の大草原。河川敷は今なお多様な環境を維持し、多様な生物の生息空間があります。川につながる台地の斜面・湿地・雑木林は荒川の水源地です。共に多様な遺伝子の宝庫と考え保全・再生の活動をしています。

2001年には、国土交通省が埼玉県の上尾市、川越市、川島町にまたがる荒川と入間川のかつての合流点付近を買い上げ、三ツ又沼ビオトープとして整備しました。現在、水と緑のネットワークの拠点となる三ツ又沼ビオトープおよび、その周辺の保全管理、自然環境調査、環境教育の推進などに取り組んでいます。

具体的な取り組みには、

○三ツ又沼ビオトープの自然管理作業

外来植物（セイタカアワダチソウ、オオブタクサ、アレチウリなど）の除草、竹林の伐採

○環境教育の推進・調査活動

一般市民を対象とした「自然塾三ツ又」の開催、市民参加の堤防植物調査の実施

などがあります。



三ツ又沼ビオトープでは、帰化植物の除去など年間35回程度、保全活動をしています



増加しているハチクやマダケを減らすために、5月・6月は若竹の伐採、1月・2月は竹の伐採作業を実施しています